

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	企画一般管理費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	186	170		170		82	252	66
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	186	170		170		82	252

事業概要	インターネットで得られない情報等を得るために必要な書籍等を購入する経費、広域連携での要望活動等の旅費を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	インターネットで得られない情報などを収集するため書籍等の購入、広域連携での要望活動等の旅費。		
現状と背景	情報収集のための書籍購入、要望活動等を行っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	都市整備課
事業名	基地対策総務費
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	580	744		744			744	164
財源内訳	国	200	196	196			196	▲ 4
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	380	548		548			548

事業概要	基地を有することから、騒音対策など市民生活向上のため要望活動や情報交換などを行なう。	今年度見直し事項	
事業目的	美保基地を取り巻く課題への対応及び基地周辺地域の民生安定と市民生活向上を図る。		
現状と背景	基地を有する地域のため、騒音対策を講じ、市民生活向上のため補助事業等に結び付ける。また要望活動や情報交換等を図る。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	通商観光課
事業名	米子鬼太郎空港利用促進事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	195	241		122			122	▲ 73
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	195	241		122			122

事業概要	米子鬼太郎空港の利用促進活動及び航空路線の充実と利便性向上のため、米子空港利用促進懇話会を通じ、運航会社へ要望活動を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	米子鬼太郎空港の利用促進と路線の充実を図る。		
現状と背景	米子－東京便は、市民生活や経済活動等に必要不可欠な路線であり、今後も更なる利便性向上を図るため、継続的な運航会社への要望が必要である。 また、平成27年9月に撤退したスカイマークの再就航を働きかけていく必要がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	都市整備課
事業名	米子空港周辺地域活性化対策協議会費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	102	102		90			90	▲ 12
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	102	102		90			90

事業概要	米子空港の周辺及び環境対策事業を実施する。	今年度見直し事項	
事業目的	米子空港周辺の環境整備やその要望活動に取り組む。		
現状と背景	空港周辺地域の生活向上及び空港利用促進に向けた諸活動に取り組む。 平成29年度で活性化対策事業の完了予定。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	みんなでまちづくり推進会議費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	197	197		197			197	
財源内訳	国							
	県	98				98	98	
	市債							
	その他							
	一般財源	99	197		197	▲ 98	99	

事業概要	<p>市民、市民活動団体、事業者、市が力を合わせて暮らしやすいまちを実現するための役割や責務などのルールを定めた「境港市みんなでまちづくり条例」を平成19年7月に施行した。</p> <p>その条例の実効性を確保し参加と協働のまちづくりを推進していくため、公募の市民、市民活動団体の代表、有識者などで構成する「境港市みんなでまちづくり推進会議」を開催し、「市民活動推進補助金の審査」や「参加と協働の取り組み状況の評価」などを行っていくもので、委員・アドバイザーの報酬を予算化している。</p>	今年度見直し事項	
事業目的	<p>平成19年7月に施行した「境港市みんなでまちづくり条例」の実効性を確保していくため、公募の市民、市民活動団体の代表、有識者などで構成する「境港市みんなでまちづくり推進会議」では、「参加と協働のための指針の検討」や「参加と協働の実施状況のチェック」、また必要に応じ「条例の見直しの提言」などを行っていく。</p>		
現状と背景	<p>参加と協働のまちづくりを推進するため、平成19年7月に「境港市みんなでまちづくり条例」を施行し、同年12月に「境港市みんなでまちづくり推進会議」を設置した。</p>	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	自治コミュニティ助成金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,900	7,000		4,000		1,000	5,000	2,100
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	2,900	7,000	4,000		1,000	5,000	2,100
	一般財源							

事業概要	<p>住民が自主的に行うコミュニティ活動を促進し、自治会をはじめとするコミュニティ組織の健全な発展を図るため、(一財)自治総合センターの助成制度を活用して自治会等が行う次の事業に対して助成を行う。</p> <p>1 一般コミュニティ助成事業…コミュニティ活動に必要な施設や備品の整備に関する事業</p> <p>2 青少年健全育成助成事業…小・中学生が参加する各種スポーツ・レクリエーション活動や文化・学習活動に関する事業</p>	今年度見直し事項	
事業目的	<p>コミュニティ活動に必要な備品や活動経費を助成することにより、住民が自主的に行うコミュニティ活動を促進するとともに地域の連帯感を醸成し、自治会・町内会等の健全な発展を図る。</p>		
現状と背景	<p>事業採択は(一財)自治総合センターが決定するもので、応募状況によっては採択されないことも多々ある。</p>	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	市民活動推進事業補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,600	1,600		1,420	180		1,600	
財源内訳	国							
	県	800				800	800	
	市債							
	その他	300						▲ 300
一般財源	500	1,600		1,420	180	▲ 800	800	300

事業概要	市民が行う自主的で自発的な市民活動の活性化を図るため、社会貢献性のある市民活動で、活動立ち上げのための経費や花いっぱい運動に必要な経費などの一部を補助する。	今年度見直し事項	
事業目的	社会貢献性のある市民活動の立ち上げなどを支援することにより、市民活動を促進し、地域の特色を活かした活力のあるまちづくりの実現を図る。		
現状と背景	平成17年度から補助制度を実施している。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	財政課
事業名	緑と文化のまちづくり基金積立金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	4	2		2			2	▲ 2
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	4	2	2			2	▲ 2
一般財源								

事業概要	<p>緑と文化のまちづくりの趣旨に賛同される市民などからの寄附金等を、緑と文化のまちづくり基金に積み立てるもの。当初予算では、基金の運用収入(預金利子)等を計上している。</p>	今年度見直し事項	
事業目的	<p>緑と文化のまちづくりへの指定寄附金等を緑と文化のまちづくり基金に積み立て、緑と文化のまちづくりの促進と、同事業の安定的な実施を図る。</p>		
現状と背景	<p>緑と文化のまちづくり事業は昭和63年度から取り組んできており、境港市緑と文化のまちづくり基金も緑と文化のまちづくりを促進するため、同年度に設置されている。</p> <p>事業開始以来25年以上が経過し、緑と文化のまちづくり事業と趣旨は市民にも深く浸透している。</p>	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	市民活動センター運営事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,088	2,115		2,091	2		2,093	5
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	421	400	400			400	▲ 21
一般財源	1,667	1,715		1,691	2		1,693	26

事業概要	協働のまちづくりを推進するための拠点施設として、平成18年3月から市民活動センターを開設した。市民活動のための会議スペースやパソコン、印刷機等を利用できるようにするなど市民活動を支援するための施設の管理費を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	市民活動の場として市民活動センターを設置し、市民活動を支援し・活性化を図ることにより、協働のまちづくりを推進する。		
現状と背景	平成18年3月に運営開始し、「境港市みんなでまちづくり条例」において、市民活動団体などの活動や交流の拠点として位置づけている。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	中海・宍道湖・大山圏域市長会負担金(人件費分)
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	5,313	5,313		5,313			5,313	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	5,313	5,313		5,313			5,313

事業概要	平成24年4月から「中海市長会(松江市、安来市、米子市、境港市の四市で構成)」に出雲市及び大山圏域の町村を加え、この圏域の総合的・一体的な発展を図るため、新たに「中海・宍道湖・大山圏域市長会」を組織し、行政上の共通課題等についての連絡調整や共同事業を実施するために、事務局人件費の一部を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	松江市、出雲市、安来市、米子市、境港市の5市で「中海・宍道湖・大山圏域市長会」(大山圏域の町村はオブザーバー参加)を組織し、行政上の共通課題等についての連絡調整や共同事業(主に観光・産業・環境の3分野)を実施することにより、圏域の振興と活性化を図り、魅力ある地域社会を形成する。		
現状と背景	中海を取り巻く4市1町の県境を越えた連携強化が必要であることから、平成19年7月に「中海圏域四市連絡協議会」を発展解消し「中海市長会」を設立した。平成23年8月に松江市と東出雲町が合併し、現在は4市で構成。平成24年4月から新たに出雲市及び大山圏域の町村を加え、「中海・宍道湖・大山圏域市長会」を設立した。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	都市整備課
事業名	米子鬼太郎空港アクセス通路負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	41	34		34			34	▲7
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	41	34		34		34	▲7

事業概要	米子空港駅の利便施設の維持管理を行なう。	今年度見直し事項	
事業目的	米子空港駅の待合施設とトイレ等を維持管理し、美観確保と利用増進を図ることを目的とする。		
現状と背景	米子空港駅周辺の利便施設(トイレ、待合施設)の維持管理費を鳥取県(85%)、米子市(10%)、境港市(5%)で応分に負担することを協定している。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	通商観光課
事業名	国際定期航路利用促進協議会負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	4,478	4,478		4,478			4,478	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	4,478	4,478		4,478			4,478

事業概要	国際定期航空路線である「米子ーソウル便」「米子ー香港便」、環日本海国際定期航路「DBSクルーズフェリー」の利用促進事業を実施する国際定期航路利用促進協議会に対する負担金。	今年度見直し事項	
事業目的	「米子ーソウル便」「米子ー香港便」及び「DBSクルーズフェリー」の利用促進により、路線の安定運航を図る。		
現状と背景	「米子ーソウル便」は、平成13年に開設され、現在、週3便の運航。「米子ー香港便」は平成28年に就航し、週2便の運行。「DBSクルーズフェリー」は、平成21年に就航し、現在週1便の運行。本路線は、観光・ビジネス利用に加え、国際交流の推進に重要な役割を果たしており、引き続き、各種の利用促進策を講じ、利用者の拡大に努める必要がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	通商観光課
事業名	米子鬼太郎空港無料駐車場運営事業負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	471	422			268		268	▲ 203
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	471	422			268		268

事業概要	米子鬼太郎空港利用者の利便性向上を図るため、鳥取県・米子市・境港市が共同で、同空港駐車場の無料化及び維持管理を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	米子鬼太郎空港駐車場の無料化により、自家用車で同空港を利用する方の利便性向上を図る。		
現状と背景	鳥取・出雲・岡山など近隣空港の駐車場は以前より無料で運営されている。米子鬼太郎空港においても、他空港との競争力強化を図るため、駐車場の無料化が必要である。現在の無料化事業は、平成19年10月から平成29年9月までの間、鳥取県・米子市・境港市共同で実施中。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	通商観光課
事業名	米子空港利用促進懇話会特別負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	5,000	5,000		5,000			5,000	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	5,000	5,000		5,000			5,000

事業概要	米子鬼太郎空港の利用促進事業を実施する米子空港利用促進懇話会に対する特別負担金。	今年度見直し事項	
事業目的	米子鬼太郎空港の利用促進と路線の充実を図る。		
現状と背景	米子ー東京便は1日あたり6便が運航されており、市民生活・地域経済に必要な不可欠な航空路線となっている。また、圏域官民を挙げて7便化への増便を要望しており、平成27年度からは一部7便が実現されている。今後も更なる利用者の拡大に向け、路線のPR、各種の商品造成やチャーター便、LCCなど他の航空会社の誘致など、官民をあげての積極的な利用促進活動が必要である。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	通商観光課
事業名	米子空港利用促進懇話会負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	150	150		150			150	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	150	150		150			150

事業概要	米子鬼太郎空港の利用促進事業を実施する米子空港利用促進懇話会に対する負担金。	今年度見直し事項	
事業目的	米子鬼太郎空港の利用促進と路線の充実を図る。		
現状と背景	米子ー東京便は1日あたり6便が運航されており、市民生活・地域経済に必要な不可欠な航空路線となっている。また、圏域官民を挙げて7便化への増便を要望しており、平成27年度からは一部7便が実現されている。今後も更なる利用者の拡大に向け、路線のPR、各種の商品造成やチャーター便、LCCなど他の航空会社の誘致など、官民をあげての積極的な利用促進活動が必要である。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	鳥取県西部広域行政管理組合負担金(管理費)
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	26,321	24,681		24,681		307	24,988	▲ 1,333
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
一般財源	26,321	24,681		24,681		307	24,988	▲ 1,333

事業概要	鳥取県西部の2市6町1村のごみ処理をはじめ消防事務などを鳥取県西部広域行政管理組合において共同処理しているが、同組合の一般管理費の負担金を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	鳥取県西部広域行政管理組合で、鳥取県西部の2市6町1村のごみ処理や消防事務などを共同処理をすることにより住民サービスの向上と経費削減を図る。		
現状と背景	昭和47年から、経済的、事務的効率の観点から各市町村が単独で行うより広域的に処理することが適切な事務を行っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	市民活動センター登録団体連絡協議会補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	81	42		42			42	▲ 39
財源内訳	国							
	県	40				21	21	▲ 19
	市債							
	その他							
一般財源	41	42		42		▲ 21	21	▲ 20

事業概要	協働のまちづくりを推進するため設置した市民活動センターにおいて、各活動団体の連携強化と同センターのPRを図るため市民活動センター登録団体連絡協議会が実施する講演会やイベントの経費の一部を、補助金として予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	各団体共通の課題に関する講演会などを開催し、団体間の連携強化と市民活動センターのPRを図り、市民活動の促進と協働のまちづくりを推進する。		
現状と背景	平成18年3月 市民活動センター 設置 平成19年7月 境港市みんなでまちづくり条例 施行	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	管理課
事業名	鳥取県国土調査推進協議会負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	131	136		136			136	5
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	131	136		136			136

事業概要	一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する地籍調査事業の着手に向けて、業務に関する知識を高めるため「鳥取県国土調査推進協議会」に加入し研修会に参加するもので、同協議会の負担金を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	研修会への参加やアドバイザーの招聘、他の自治体担当者との意見交換により地籍調査業務の知識を習得する。		
現状と背景	平成27年度から地籍調査事業に着手した。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	都市整備課
事業名	全国基地協議会分担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	11	13		13			13	2
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	11	13		13		13	2

事業概要	基地所在市の国の予算増額確保をするため全国基地協議会に加入する。	今年度見直し事項	
事業目的	国有提供施設などの所在に伴う税収損失補償等の調査研究を進め、基地所在市の国の予算増額確保のため具体的解決策を講ずることを目標とする。		
現状と背景	全国組織に加入し、要望活動や情報交換等を行なう。	その他	均等割:定額 交付金割:(基地交付金 - 100万円) × 0.09 / 1,000により算出 昭和34年開始

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	都市整備課
事業名	防衛施設周辺整備全国協議会分担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	14	14		14			14	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	14	14		14			14

事業概要	防衛施設周辺住民の生活向上を図るための国予算を確保するため防衛施設周辺整備全国協議会に加入する。	今年度見直し事項	
事業目的	自衛隊等の行為による損失の補償及び騒音等による障害防止対策に関する調査・研究を進める。飛行場周辺の生活安定及び福祉向上等を図る。		
現状と背景	全国組織に加入し、要望活動や情報交換等を行なう。	その他	均等割:定額 交付金割:特定防衛施設周辺整備調整交付金×0.07 / 1,000により算出 昭和41年開始

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	ふるさと納税PR事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	161,093	311,199		204,061		36,736	240,797	79,704
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	161,093	311,199		204,061		36,736	240,797

事業概要	平成20年度から「ふるさと納税制度」がはじまったが、広く寄附(ふるさと納税)を募るとともに本市のPRを行うため寄附者へプレゼントを贈ることとしており、そのプレゼント経費などを予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	寄附者に対して、本市ならではのプレゼントを贈ることで、広く寄附(ふるさと納税)を募るとともに本市のPRを行う。		
現状と背景	平成20年4月ふるさと納税制度が導入され、それに伴い本市も「魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金」を設けるとともにPR活動を実施している。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	財政課
事業名	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金積立金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	278,155	500,046		300,046		80,000	380,046	101,891
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	278,155	500,046	300,046		80,000	380,046	101,891
一般財源								

事業概要	「ふるさと納税制度」の受け皿として「魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金」を設置し、境港市を魅力あるふるさとにするための個人又は団体からの指定寄附金(子育て支援・産業振興等に使い道を指定)などを本基金に積み立てるもの。当初予算では、基金の運用収入(預金利子)等を計上している。	今年度見直し事項	
事業目的	「ふるさと納税制度」を活用し、境港市を魅力あるふるさとにしたいと指定寄附を申し出られた方の意思を尊重するため、当該寄附を「魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金」に積み立て有効活用を図る。		
現状と背景	魅力あるふるさとにしたいと思う地方公共団体に指定寄附金を納める制度である「ふるさと納税制度」の創設にともない、「魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金」を設置した。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	通商観光課
事業名	中海・宍道湖・大山圏域市長会特別負担金(環日本海定期貨客船運航支援)
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	8,900	1,987		1,987		6,613	8,600	▲ 300
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	8,900	1,987		1,987		6,613	8,600

事業概要	環日本海定期貨客船航路は、本市が目指す環日本海オアシス都市の実現への足がかりとなるものであり、地域経済へも大きな経済波及効果をもたらすと期待される。中海・宍道湖・大山圏域が一体となり連携して境港の一層の発展に期すため、中海・宍道湖・大山圏域市長会を通じて、環日本海定期貨客船航路の運航支援を行い、航路の安定運航を促す。	今年度見直し事項	
事業目的	環日本海定期貨客船航路の安定運航を維持することで、環日本海諸都市との人・モノの交流を活発化させ、国際交流の発展及び地域経済の発展を目指す。		
現状と背景	H21年度の航路就航からH25年度まで初動期間の支援を実施してきた。その結果、航路は継続し、圏域に大きな経済効果をもたらしたが、航路をとりまく環境は依然として厳しく、事業収支は黒字化していない。H26～28年度は、航路の定着・安定化を目的として支援の延長を行ったところ。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	境港市民総合ボランティアセンター運営協議会補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,797	1,838		1,836	2		1,838	41
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	1,797	1,838		1,836	2		1,838

事業概要	ボランティア活動の拠点施設、市民総合ボランティアセンターの運営主体である「境港市民総合ボランティアセンター協議会」に対する同センターへの運営経費の助成金を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	ボランティアセンター活動を通じて、市民のボランティアの意識の向上を図るとともに、地域でのボランティア活動を通じて、協働のまちづくりに対する理解を深めこれからの地域活動の推進を図る。		
現状と背景	協働のまちづくりを推進する中で、市民ボランティアの皆さんの機運が高まり、平成16年10月に場所を老人福祉センター内として設立。その後、新たに整備された市民活動センター内に所在を移転した。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	移住定住促進事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		918		82		▲ 82		
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		918		82		▲ 82	

事業概要	移住定住イベントに参加し当市をPRするためのパンフレット作成や旅費 また、移住者へアンケートを行い移住者の分析を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	移住定住イベントに参加し、当市をPRする。および移住者へアンケートを行い分析を行う。		
現状と背景	少子化等による人口の減少により移住定住の促進が必要となっている。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	中海・宍道湖・大山圏域市長会負担金(共同実施事業分)
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	3,000	6,000		6,000			6,000	3,000
財源内訳	国		1,800	1,800			1,800	1,800
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	3,000	4,200		4,200			4,200

事業概要	平成24年4月から「中海市長会(松江市、安来市、米子市、境港市の4市で構成)」に出雲市及び大山圏域の町村を加え、この圏域の総合的・一体的な発展を図るため、新たに「中海・宍道湖・大山圏域市長会」を組織し、行政上の共通課題等についての連絡調整や共同事業を実施するために必要な事業費を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	松江市、出雲市、安来市、米子市、境港市の5市で「中海・宍道湖・大山圏域市長会」(大山圏域の町村はオブザーバー参加)を組織し、行政上の共通課題等についての連絡調整や共同事業(主に観光・産業・環境の3分野)を実施することにより、中海・宍道湖圏域の振興と活性化を図り、魅力ある地域社会を形成する。		
現状と背景	中海を取り巻く4市1町の県境を越えた連携強化が必要であることから、平成19年7月に「中海圏域四市連絡協議会」を発展解消し「中海市長会」を設立した。平成23年8月に松江市と東出雲町が合併し、現在は4市で構成。平成24年4月から新たに松江市及び大山圏域の町村を加え、「中海・宍道湖・大山圏域市長会」を設立した。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	鳥取大学振興協力会会費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	15	15		15			15	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	15	15		15			15

事業概要	鳥取大学振興協力会は、会員企業・団体等と鳥取大学が連携し、県内産業の活性化を図るため、年間を通じて各種の交流事業等を展開しており、本会に入会することで活動を支援する。	今年度見直し事項	
事業目的	鳥取大学と会員との交流を推進し、相互理解を深めることにより、産官学連携事業を推進する。		
現状と背景	設立日：平成12年12月14日 会員数：県内外の企業を始めとする法人等 205会員 (H28.11時点) 県内市町村の加入状況・・・境港市、鳥取市、倉吉市、米子市、岩美町、北栄町、琴浦町、大山町、南部町、江府町、日南町、伯耆町、日吉津村	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	管理課
事業名	地籍調査事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	44,926	47,125		46,819			46,819	1,893
財源内訳	国							
	県	32,340	34,080	34,080			34,080	1,740
	市債							
	その他							
	一般財源	12,586	13,045		12,739			12,739

事業概要	一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する。	今年度見直し事項	
事業目的	国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、あわせて地籍の明確化を図る。		
現状と背景	鳥取県内での地籍調査の実施状況・・・完了(2町村)、実施中(17市町)、境港市:H27に着手 進捗率・・・国51%、鳥取県26%、境港市3%	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	鳥取県西部地域振興協議会負担金
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		65		65			65	65
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		65		65		65	65

事業概要	鳥取県西部の地域振興を図る協議会にかかる負担金	今年度見直し事項	
事業目的	鳥取県西部地区における移住定住事業などを西部地域9市町村で行い、圏域全体の人口減少の抑制など、西部地域の振興を図る。		
現状と背景	鳥取県西部地域振興協議会の9市町村が合同で、移住定住事業や要望活動などを行い、地域の振興を図っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	境港市総合戦略推進事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	165	158		79			79	▲ 86
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	165	158		79			79

事業概要	産官学金労言の各団体の代表で構成される「境港市総合戦略推進会議」を開催し、「境港市総合戦略」における施策の効果検証、総合戦略の見直し等を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	平成27年10月に策定した「境港市総合戦略」においては、PDCAサイクルを用いて、毎年度、施策の効果検証・改善を行い、必要に応じて「境港市総合戦略」の見直しを行うため、境港市総合戦略推進会議を開催する。		
現状と背景	まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口減少と地域経済縮小を克服し、魅力と活気にあふれ、心豊かに安心して暮らせる「境港市」を構築していくことを目的とし、平成27年10月に平成27～31年度の5か年計画である「境港市総合戦略」を策定。今後は「境港市総合戦略」の進捗管理を行っていく。	その他	

会計	10	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

所管課	地域振興課
事業名	出会いの場づくり事業実行委員会負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑤-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	400	400		400			400	
財源内訳	国							
	県	200	200	200			200	
	市債							
	その他							
	一般財源	200	200		200			200

事業概要	未婚の男女を対象に、婚活支援として、中海・宍道湖・大山圏域一体となつて、出会いの場の提供事業を実施する「出会いの場づくり事業実行委員会」への負担金。	今年度見直し事項	
事業目的	少子高齢化、人口減少が進む中で、定住人口の増加を図るため、婚活を支援し、未婚化、晩婚化を解消する。		
現状と背景	平成25年度より中海・宍道湖・大山圏域の5市、6町、1村と民間事業者で構成される「出会いの場づくり事業実行委員会(事務局:松江市)」にて圏域一体での婚活イベントを実施している。	その他	